

都市における Quality of Life 評価のためのドラマ化手法の開発

○名古屋大学大学院 学生員 加知 範康 名古屋大学大学院 フェロー 林 良嗣
名古屋大学大学院 正会員 加藤 博和

1 はじめに

都市への人口集中が収まりつつある現代日本では、市民の環境やアメニティに対する意識が高まり、都市計画が実現すべき価値として生活の質的向上が求められている。都市計画の実施に伴う市民一人一人の生活の質の向上を把握するためには、生活者の視点からの計画評価が必要であり、これは「市民参加」、「アカウンタビリティ」、「情報公開」の面からも有用な手法である。そこで本研究では、市民にとって分かりやすい評価ツールとして従来の CG 表現を更に進展させた「ドラマ化手法」という映像提示の考え方を新たに開発し、生活者の視点からの評価を支援するツールとすることを目的とする。

2 生活の質の定量評価手法とドラマ化手法

国民生活の豊かさを示す指標として用いられている、「新国民生活指標」などの社会指標は、国民生活の状態を包括的に測定するための指標体系であり、個人の生活実感を十分に表すものとは言い難い。この問題を解決するために、個人の日常生活の観点から豊かさを評価することが必要である。

「生活の質」を定量的に評価した指標開発の試みとして、杉山ら¹⁾による「Quality Of Life(QOL)」の定義がある。ここでは、「QOL」の構成要素を大きく移動快適性、居住環境快適性、ネットワークサポート性、買い物・娯楽機会、所得・資産と定義し、各要素に重み付けを行い合計をとるという考え方をとっている。しかし、各要素間の重みを決定することが困難であり、実際の定量評価に際して、住民やその他の関係者からの合意・納得を得ることができないという決定的な問題がある。

そこで、本研究では QOL 指標による都市計画評価の必要性を認めつつ、QOL の定量評価法の弱点を解決しうる新たな手法として、「ドラマ化手法」を提案する。これは、都市計画により住民の生活スタイルが変化し、それに伴って「生活の質」がどう変化するかを、静止画像や写真ではなく動画を用いて明示するものである。すなわち、被験者となる都市生活者に都市計画により変化した日常生活をテレビで放映されている「ドラマ」のように映像として都市居住者に提示することにより、疑似体験し評価を付けてもらい、その結果から代替案毎の「生活の質」の大小の把握、各要素の重み付けを計測するための手法の提案を行うというものである。

3 ドラマ化手法を用いた評価の枠組み

ドラマ化手法を用いた都市計画代替案評価手順の概略を図-1に示す。まず、1)夜間人口を与件として設定し、2)人口分布をシナリオとして与え、3)提示すべき生活のシーンを選定しておく。次に、4)各シナリオにおける都市状況を特定し、5)それを用いて選定した生活の各シーンを決定し繋ぎ合わせて生活ストーリーとしてまとめる。そして、6)まとめられた生活ストーリーを映像化し、7)インターネットを利用して被験者に配信し、どのストーリーが良かったかをアンケートする、ことにより都市計画代替案の評価を行う。

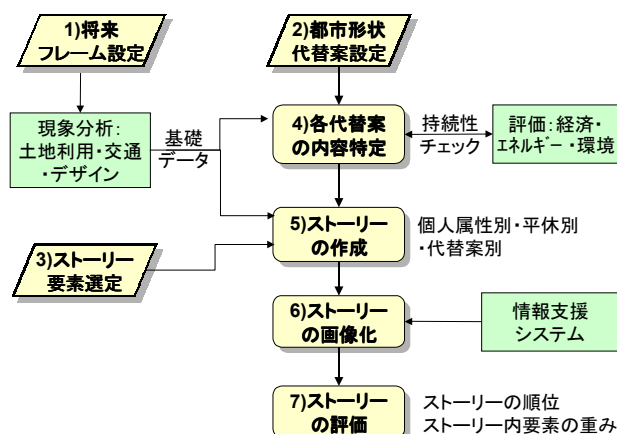


図-1 ドラマ化手法を用いた
都市計画代替案評価の手順

キーワード：ドラマ化手法, QOL, 都市計画評価

〒464-8603 名古屋市中種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 TEL.052-789-3828, FAX.052-789-3837

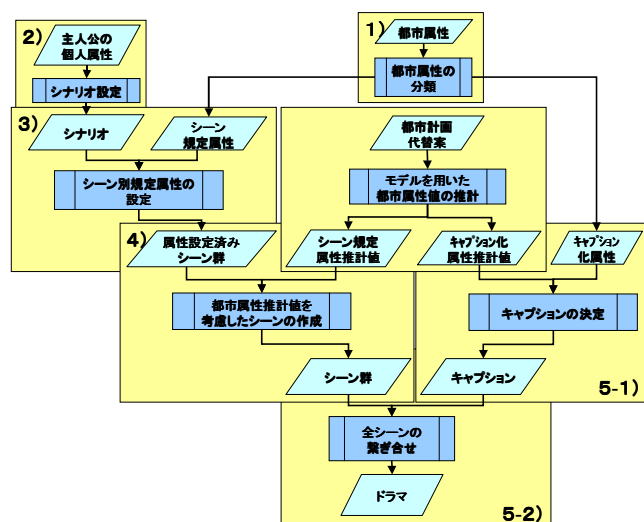


図-2 ドラマ化手法の全体構成

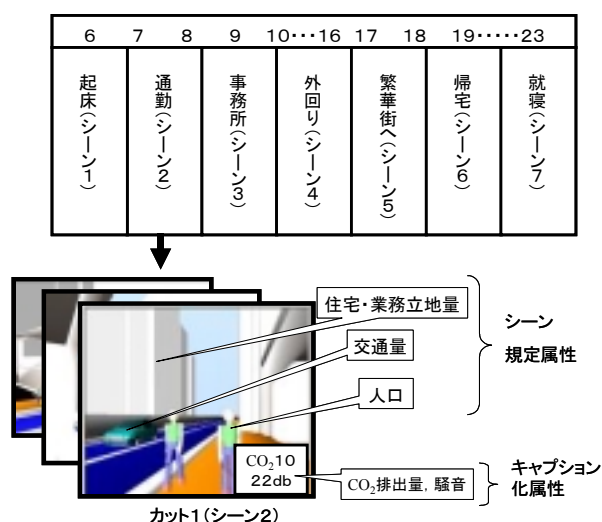


図-3 ドラマと各シーン・カットとの関係



図-4 作成した映像例

4 ドラマ化の手順

ドラマ化手法の全体構成を図-2に、ドラマと各シーン・カットとの関係を図-3に示す。

1) 都市属性の分類

都市状況を定量的・定性的に表す要素である都市属性には、a)都市形状、交通量などのように映像として示すことができるもの(シーン規定属性)と、b)租税負担や環境負荷などのように映像としては示すことができないが都市計画評価において示しておく必要があるもの(キャプション化属性)、とがある。そこで、a)はドラマの各シーンに映像として盛り込み、b)はドラマの最後のシーンに数値情報として盛り込む。

2) ドラマのシナリオ作成

ドラマ化手法の特徴の1つである、生活スタイルに従って1日行動したときに体験する都市状況の提示のために、ドラマの主人公の個人属性を設定し、その属性において可能な1日の生活スタイルを設定する。

3) シーン別規定属性の設定

シーンを繋ぎ合わせてできるドラマの中では、都市計画代替案によって変化する都市状況を再現するために、各シーンがどの都市属性によって規定されるかを明らかにすることによって、シーン毎に「シーン規定属性」を設定しておく必要がある。一方、「シーン規定属性」が反映されないシーンについては、製作者の意図のみによって作られるので、「シーン規定属性」と生活スタイルを比較し前もって削除しておく必要がある。

4) 都市属性データを考慮した各シーンの作成

都市計画代替案毎に各シーン規定属性を推計・予測し、それを入力して各シーンを作成する。(図-4)

5-1), 5-2) 各シーンの繋ぎ合わせ

作成した各シーンを時間配分を考慮して繋ぎ合わせ、各代替案について1本のドラマを作り上げる。さらに、「キャプション化都市属性」の推計値を最後の1カットに数値情報として付け加える。

5 まとめ

本研究では、生活者視点から都市計画代替案を評価するためのツールとして「ドラマ化手法」を提案することができた。今後はケーススタディを通してこの手法の有効性を検証していく。

<参考文献>

1)林良嗣・杉山郁夫・羽根田英樹・ハンマード アミン・加藤博和・楊忠振：近未来3次元都市の計画と構築のための分析フレームと実現へのアプローチ，土木計画学研究講演集 22(1),pp.659-660, 1999.11.